

愛大鉱山 38 クラス会

2024年4月25日(木)、コロナから解放されやっと仲間が集まったのクラス会を開催、でも84歳ともなると一人で遠路の旅はきつくなるし、家族も心配・不安になるもの、にもかかわらず遠くは埼玉県から、関西から、岡山県からと小生の6名が広島県の福山城へ先ずは5名が参集、天守閣へ揃ったところで、国宝明王院と五重塔へ参拝、参拝客は少なく静寂、そこで山出君が「俺、今日誕生日だよ」の言葉、「そりゃ〜おめでとう！」ケーキを買おうとするがすでに郊外、途中の町でと探すが見つからず、困惑の所へ電話が「作右衛門ですが、ケーキを当方で作りましょうか？」とのこと、「それはありがたい、お願いします」と鞆町へ直行。

1867年坂本竜馬の乗る「いろは丸」が鞆沖で紀州藩の軍船と衝突沈没、損害賠償交渉を鞆町で、その交渉場所であり、宮崎駿監督の常連宿が古民家再生の「カフェ&御宿 いろは」と言うことで、休店中の所を入店、寡黙な本名君が天井を見て古民家でしか味わえない天井を綺麗に這う碍子や電線に「今はもう見れない景色」と古民家のたたずまいを好評価、確かに昔人の良い仕事ぶりを見た。ご亭主のお帰りを兼ねて休憩させて戴き、お帰りになられて、お話も多々、時間調整もできて少し早めだけど宿へ。

『何と玄関には「愛大鉱山 38 クラス会」の表札が掲げられていた』この「隠れ家 作右衛門」はやはり古民家再生の「一軒貸し切り宿」で6~20名まで宿泊可能、コーヒーで休憩の所へ田中君が「バスも良かったよ〜」と到着、全員揃い夕食タイムまで近隣を散策へ「保命酒」のお店へ行きたかったが、いずこの店も16時で閉店していて寂しい通りだったが、超有名な7mの高さを誇る「常夜灯」でパチリ、帰宿。三々五々に檜の良い香りがする露天風呂へ、まだ明るいので美しい星空は見れなかったが、かけ流しの湯にゆっくり、長湯し過ぎたようで、湯船から出た武本君立ち眩みしたらしく転倒、左腕を打撲と擦過傷、倒れたまま少し過ごし、再度立ち上がりまたも転倒、今度は右腕を傷めて、救急車の車中で傷の手当てと血圧などを検査し、頭部には異常なしとのこと「今宵は禁酒ですよ」の注意を受けて、解放。先ずは不幸中の幸いで良しと・・・。

夕食の席へ参集、先に逝った没故者5名への黙とう、そこへ朱の大盃と祝言の書かれた寿のし付きの大きな青竹からのお酒が、山出君が持つ大盃に注がれ一口、後次々と皆さんで回し飲み、最遠の田中君の音頭で乾杯し、夕食に、瀬戸内らしく海の幸満載の御膳、その上、

「サゴシの一本炙り」を眼前でのさばきにつき、大きな白い餅のようなものが運び込まれ、山出君が杵で叩くとひび割れて、何と中から現れたのは立派な「真鯛の塩釜焼」、これも料理長谷本茂樹さんの見事なさばきのショーを見せてくださると言う豪華な・豪華な美味しい御馳走を堪能、デザートには誕生祝いのケーキにろうそくと果物が、ハッピーバースデーを合唱、「おめでとう！」と拍手、山出君にとってきっと人生最高の誕生祝となっただろう、この誕生日ショーは全て無料のサービスと後で知る始末。作右衛門さん、有難うございました。

食後は田中君の几帳面さでまとめてくれた過去のクラス会の写真集をスクリーンに映し

出し、没故者もこの時は生き返り、皆も若返っての懐かしさを喜び、今宵ぎりぎりまで鑑賞。本日はここまででしよう、大部屋や個室の綺麗なふわふわの布団に潜り込んだ。

翌朝、古民家と言えども、トイレは当然の最新式、仲間のトイレ使用情報がわかる、何とまだポットン時代の習慣が変えられず、ペーパーを使っている人が居た。温水洗浄便座では紙を使う必要がないばかりか、使うはマイナスなのに、すぐ洗浄するのですよ！ならば手が汚れない、紙代不要で家計にも有利なのだよ～ん、SDGsに反するし、ペーパーレスを、小生は銀行通帳等も通帳レス、すごく便利だよ～ん。

まずはコーヒーで覚醒し全員集合、しっかりと朝食の後は、武本君のTV出演した「立山ロープウェイの架け替え工事を全国放送されたアナログ時代の録画をデジタルへ変換されたDVD」を久方ぶりに鑑賞、若かりし彼の活躍ぶりをも堪能させて戴いた。ここで今回の会費＝リーズナブルな宿代22,000円を徴収、そして今までのクラス会の報告を同窓会誌へ投稿してきた事に対する報償を貯めていて12万円余もあったので「皆さんの弔電費用を残して今日全部使います」とまずは旅費の援助にと遠近により夫々に支給、他の支出にもきっと十分にあるだろう。ありがたい会誌からの報償だ。でも、戴くだけでは申し訳ないので、複数人が常に同窓会へは寄付もしているのですよ～。

出立の時「今度は米寿にぜひおいでください」と黒子役で素敵にお世話をくださった岡野和美さんの一言、今回が最後のクラス会のつもりだったが、改めて4年後、元気で再会をここでしようという新しい夢が生まれた次第。

作右衛門を出立し、宮崎駿監督のアニメ「崖の上のポニョ」や「千と千尋の神隠し」で一層有名になった、断崖絶壁の岬に建立された別名「おっばい神社」へ、ここは安産祈願の神社で、孫娘の安産を祈願する者も、ポニョと監督が命名した訳に納得！朱塗りの美しい阿伏兔観音を訪れればあなたも「な～るほど」と納得されることでしょう。

次に向かうは、「はきもの博物館」へ、ここには小生が50年ほど前に作成・使用して約2m70cmの巨人でホコ天を闊歩した「脚長おじさん」の脚長が展示してあり、「脚長おじさん誕生秘話」をお話し、皆さんに見聞してもらった。

昼食は、すぐ近くのここも古民家再生の「割烹 大吉」へは遅れて到着だが、素敵な和室での蟹がメインの「蟹の彩り御膳」の贅沢・美味昼食、ところがわずか2,000円と超リーズナブル。

食後は別室にしつらえてくださった茶室へ、赤い毛氈に鎮座し、美しいカーキのお着物を召された山本桂子師匠のお手前により一服の茶を戴き、茶道の勉強もし、渡邊君が学生時代にお茶のお師匠さん宅へ下宿だったので茶道を習い万能知識の内の一端を披露等々、非常に優雅で・静寂な・ゆったりとした時間を過ごしていたが、ついに別れの時間が到来。

4年後には元気で再会できる様に互いに健康に留意しましょうと後ろ髪を引かれる思いで、お別れを、武本君の車に本名・渡辺両君を岡山県までかと思いきや両氏の希望で福山駅へ、山出君の生駒経由で大津へ向かったのを見送り、小生は田中君を福山駅へ送り届けて、三次へ帰路についた。参加者は6名だったが、遠路ご参集くださった素敵な仲間感謝しきり。

武本君は、翌日医者へ、看護師さんから「飲酒後のお風呂と長湯はいけませんよ」との注意だけで、他には何ら問題はなかったとの事、胸をなで下した。

なお、丁寧にお世話くださった岡野和美さん&素敵な着物姿でお抹茶のお手前くださった山本桂子さんに、多謝！多謝！

非常に・非常に有意義で素敵なクラス会が完成できて世話人としても、満足！満足！

筆：宗片康修



